

28. 酸性雨等森林衰退モニタリング事業 (国庫委託事業)

遠竹行俊・松尾健次

〔目的〕

林野庁では、酸性雨等による森林への被害状況を把握するため、1990(H2)年度から1995(H6)年度まで5ヵ年にわたって全国1200ヵ所の地点の森林を対象に第1期モニタリング調査を実施してきた。1996(H7)年度からは第2期モニタリング調査が、第1期の5年後追跡調査として始められた。現地調査等は、国からの委託により各県が分担することとなり、東京都では今年度1ヵ所について実施した。なお、本事業は国庫委託事業であり、データの解析・公表の一切は林野庁が行うものとされている。

〔方法〕

林野庁にて定められている『酸性雨等森林衰退モニタリング事業実施マニュアル』に基づいて行った。調査地は、1/5万の地形図幅名『青梅』のスギ人工林39年生である(図-1、表-1)。それぞれの調査地で、雨水調査<1997(H9)年6月17日~26日>毎木調査及び衰退度調査、植生調査及び植物体(葉)の採取等を行い、マニュアルに従い乾燥や粉碎処理した後、指示された機関に送付した。また、マニュアルの様式に従って取りまとめ1998(H10)年3月初旬林野庁に提出した。

〔結果〕

上記の理由から、現時点では一切公表できない。

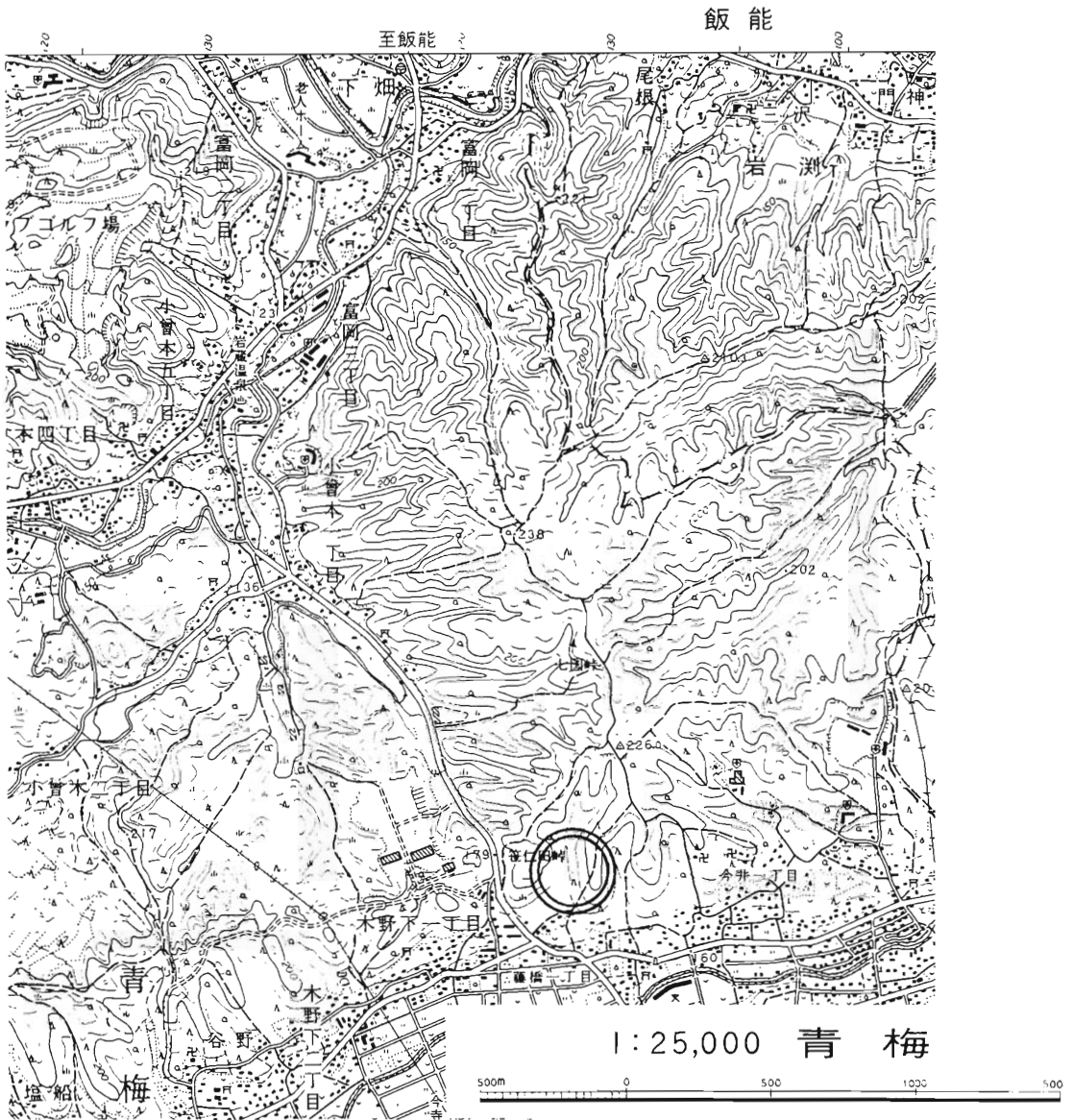


図-1 調査地点 (平成4年;第一期調査、平成9年;第二期調査)

表-1 調査地一覽

調査地名 (1/2.5万図幅名) : 『青梅』 (JIS区画コード5339-52-64)
地籍名 : 青梅市藤橋429番地 (北緯35度48分40秒, 東経139度18分20秒)
標高 : 170m 傾斜方位 : S30W 傾斜角度 : 5° 表層地質 : 第三系礫質
樹種 : スギ 林型 : 人工林 林令 : 39年 地位指数 : 20